



原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

12/17

ぼくは、原子爆弾は、こわいことと危険なこととは知っていたけれど、恐ろしいものでもしていなかった。とてもこわいものでとても危険なものだと知りませんでした。

まず最初におどろいたことは、17才で陸軍に入団したことです。なんでそんなにはやく軍に入るんだと思うました。

悲しく思ったことは、日本に原子爆弾をおとしたこと、原子爆弾の威力の結果を知るためにおとしたこと、原子爆弾をおとしたことです。原子爆弾が、爆発したら、200mのところまで100万℃、600mでも3000℃もするを聞いたとき本当にこわいと思ひました。太陽の温度もこえる物をおとしたときと本当にこわく思ひます。

ゴルフボールぐらいの大きさのウランで、すごいひがいがててしまうものをなんぞつくってしまったのだらうと思ひました。

ぼくが思ひたことは、原子爆弾をつくったりおしたりしてはいけないと思ひました。必ずこんなことをしたくないと思ひました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

12/7

ぼくは、原爆先生の話を聴いて原爆のおそろしさが、  
分かった。前半の話を聴いた時、「気持ち悪い」「カロリ」  
と思った。しかし、話を聴いていくうちに、話に吸いこ  
まれて、被爆者の気持ちや苦しみが少し分かった。  
話を聴く前は原爆はただのミサイルで他の爆弾より、  
少し強い物、ぐらゐしか分からなかった。  
しかし、実際は、14万人ほどの命をうばってしまう。  
とてもおそろしい物なんだなと思った。日本は今、とて  
も平和だ。戦争はしていないし、原爆が日本に  
落ちるなんて、とてもありえない。今の日本人は、それが  
あたりまえだと思ふし、自分もそう思っている。  
今の平和な生活がずっと続いてほしい。  
そして世界のどこにも原爆が落ちてほしくないし、  
原爆のおそろしさとはかい方を世界の人々にも  
知ってほしい。原爆先生の話を聴いて広島  
の原爆ドームに行ってみようと思った。  
今の自分にできることは、原爆のことをた  
くさん調べて、原爆のおそろしさを周りの人  
たちに教えることだ。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

12/17

私は、原爆先生の話を聴くまで、原子火暴弾は丸いミサイル的な物で大都市だけをねらっていただけかと思っていました。しかし、B29火暴撃機「エノラ・ゲイ」の中にある「リトルボーイ(小さな子又は少年)」という原爆が、直径5kmを超える平野である空襲がなかつたことが条件に当てはまる広島・長山奇に落としたことが分かりました。

また、被害を受けた人々は、水がたまたたけて水を失い、「助けて、助けて」とさけびながらウロウロしていて、川にとびこんだり、トラックにのぼろうとして死んでしまったことも知りました。

ウランたった1kgでこんなにもたくさんの人々が被害を受けているから、糸色村に作ってはならないと思いました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

4/7

私は五年生のころ 自由研究で原爆ドームの事を課題にしました。話を聞いて知らない事ばかりだし、あつためて、悲しみとか怖さとかを知りました。原爆を原因に自分の家族、自分の家がなくなった人が多くいる。この事があつた事を忘れてはなつらい。原爆を落としたエノラ・ゲイはどんな感じか、という試みに使われた ちのちで候補として出た都市は、広島、倉長崎、横浜、新潟、京都です。京都が押されていただけ、と除外されたという。色々知りたい事も知れて、知らない事も知れてよかつたです。私たちのためにわざわざ時間をくたさつてありがとうございます。原爆の話をきけてよかつたです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

137

戦争。それはどんなひどいことか、知りませんでした。しかし原爆先生の話を聞き、原爆の恐ろしさ、熱線や衝撃波で人間の体中の水分がうばれ、一しゅん  
でちりとなるなど、ただ恐ろしい結果しか出ないまさいに死の爆たんたと思っ  
た。原火暴は、約47、上空、9632m  
から、落とし、上空600mで爆発し、  
例えると、太陽が、広島の上空600m  
まで近づくとということだ。  
しかし、原火暴のおかげで戦争が終  
わったと考える人もいるだろう。  
私も一度「たしかに、とうなずいてし  
まったことがあった。しかし、よく考えて  
みると、戦争がなくなっても、いまたいに  
原火暴の放射線で、苦しんでいる  
人もいる。戦争が終っても戦争で  
苦しんでいる人はまだいる。なので私  
は原火暴は糸色文に、落としてはいけないと思う。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

12/2(月)

私は、原爆先生の特別授業を受講して、思ったことは、原子爆弾が、とても怖いことだと思いました。人間を、ひどいやけどをさせる原子爆弾。

兵隊さんは、助けようとするけれど、皮ふが、ベロベロとはがれ、被害者は、その痛さをたえている。

たった一発の原子爆弾で、広島町が、大きな被害を受ける。広島市の人口は35万人。被爆者数24万人。死者数、約半分の人が、亡くなっているのは、とてもひどいと思いました。DVDを見て、

建物は、衝撃波で、ほとんどが、はかいされ、

コンクリートのがれきになる。原爆先生の話しを聞いて、戦争は、絶対にしてはいけない物だと気がきました。

そして、今の時代は、リトルボーイの1千倍の爆弾を用意をされています。原爆のリトルボーイでも、ひどい被害にあっているのに、1千倍もの爆弾が、どこの国もなると、日本に落ちると、絶めつしてしまうと思います。そのため、どこの国とも仲良くすることが大切だと気がきました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

12/9

ぼくは原爆のおそろしさをお話を聞  
くまであまり知りませんでした。お話の中  
に「ひるがはかれ落ちるや秋口にウジ虫が  
などの文がありました。ぼくは、聞いた時に想像  
しただけでつま先からあたままで「ブルッ」としまし  
た。

妹、原爆先生のもとも臨場感のある  
言い方が原爆のおそろしさを感じて、ま  
た絶対反対にあきてはならないという  
思いが伝わってきて、原爆への反対の  
気持ちは高まりました。

今度は、そこから、ふっ、こうも、言周べて  
みたいです。

このたびは、お忙しい中、学校に来  
ていただきありがとうございました。より、  
原爆のおそろしさ、そして反対の気持ちは  
さらに高まりました。

「原爆反対」それだけでは何かあっても  
わすれません。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

12/7

戦争のない世界は私達にとっては、うれしいことです。なぜなら多くの被爆者、死者がでてしまい、家族などが原爆で被爆者になってしまったらやだかたがたです。その気持ちは、きっとたれもかもっていると思いましたが。なのに原爆をおとし、人々を悲しくつらくさせておいて、自分達は後で、さびしく感などないのか。2つの都市にあとすなんてひどいことだ。と感じました。そして、原爆の温度は、地面に着いたとき3000℃空中では、7000℃と、おそろしい温度だとおもいました。ウラン1kgで、広島は黒の世界になったのにもし60kgすくか広島におかしていたら、日本は、なげのたな?と思いました。私は、原爆ドームにいったことがあります。授業で、原爆ドームの中にある人形の写真を見せていたたいて、あの手をのばしているのは、はたかこすれていたんだ。本当に被爆してしまった人たちは、皮かさあただけではかえりませんでした。というすこく小怖く、いたく、あつい思いをして、大変だと思いました。私は、この授業をきいて、より戦争は全体おこしてはいけなと改めてわかりました。





名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

僕は原爆先生の授業をきいて考えたことは、原爆がどれだけ残酷で、残酷な出来事かということ、一つの原爆だけで、こんなにも沢山の尊い命がうばわれたということか分かり、このことから、平和を願う人々の気持ちや思いを理解し、今後の自分の生活の中で昔の出来事の中でこんなことが起きてしまった、こんなことになったしまった、ということの中で理解した上で、世の中の平和を願っていくこと、そして、この授業を受けたこの次の日から世界のニュースや、日本のニュースなどに目を向けて、世界についてくわしい人になりたいと思います。最後に僕は原爆先生の話のきいて思いが固まったことは、原爆に対しては、全面的に反対しようという思いが固まりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

12/7

この前は授業をしてくださってありがとうございました。私は、この授業を受けてもわかりやかたです。原子爆弾のいりやくや、熱線、衝撃波、放射線などがわかりました。さらに、どこにおちたのかと爆心直下の温度などもこの授業をして始めて知りました。

そして、とてもおかたです。自分が思っていたとはちがって、自分の予想をはるかにこえる話でした。

あと、自分の知らないこともしることができました。例えば、原子爆弾に投下条件があったことと、原子爆弾の名前、衝撃波の速さ、原爆ドームの昔の名前を知ることができました。

この話を聞いて、私は絶対に原爆はだめだと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生のお話<sup>じゅこう</sup>を特別授業を受講して

表

12/7

私は、原爆先生のお話を聞いて、原子爆弾による被害がとてもおそろしいと思いました。たった1つの原子爆弾によって、多くの人が亡くなり、まだ生きていてもそのほとんどの人が人間とは変わり果てた姿だたという。広島の人口は35万人、そのうちの死者が14万人。被爆者だけでも24万人つまり5人のうち2人が死んでしまったことになる。私は、どうしてこんなことになってしまったのか。何もしていない罪のない人がどうしてこんなにも死ななければならぬのかと、私は思いました。たしかに自分の国を守るために原子爆弾を使う国があるかもしれない。でも、原子爆弾を使うことによりたくさんの方が亡くなっている。この結果が出ている以上原子爆弾を使っては絶対にだめだと思う。私は、今回原爆先生のお話を聞いて、改めて原爆のおそろしさを深く知ることができ、よかったですと思っています。このたびは、本当に貴重なお話をありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

12/7

ぼくは原爆先生の特別授業を受講して先生のお父さんは原爆のひがしには当時あなかつたけれど、その後、原爆でひふかたがれた人などに手を差し伸べるも自分のせいでも痛がらせてしまうなどいやな思いがすごくないかと思いましたが、だろなと思いました。

また原爆資料館に関して人形を人形でもなりていのに本当はもっとひどいということ聞いてとても自分はそんなところにはいけないなと思いました。

そして今は世界のいろいろな国々が原爆の1千倍の力を持った核ばくだんをたくさん持っている。もう一度とこの広島や長崎などこのような被害が出てはならないと思いました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

12/7

池田 しん徳さんのお父さん 池田義三さんは、  
17才の若さにして昭和19年9月に軍隊に入隊  
しました。1945年アメリカが、3000km先の日本へ  
4発の原子ばくだんをとうかしました。(広島)  
その時ばく心地の近くにはいた人は  
い、しゅんのうちに姿を消したそうです。  
ある人はコンクリートに座わっていましたか、  
座わっていた所は、真、黒い、座わっていたかけ  
だけが残ったそうです。私は、悲さんで  
しかたありませんでした。それだけ、いかも、  
ただものではありません。球たいのひょう面は  
7000℃位。太陽のひょう面温度が6000℃。  
太陽よりも熱い熱線が、いてくるのです。  
とても、こわいです。また、熱線だけでなく、  
衝けき波に放射線もあつたのです。  
原子ばくだんのいかはすごいものです。  
今私達が、平和でいることはこのよつたなことが  
あつたからなのだと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

12/7

僕は、原爆先生の話を聞く前は、単に戦争は、いけないこと位しか、知らなかったし、原子火暴弾が広島にどんな影響をもたらすのかも知りませんでした。でも原爆先生の話を聞いて、原子火暴弾のいかに少し分かりました。まずは、熱線です。原子火暴弾の中心部の温度は、 $100万^{\circ}$ 、表面の温度は、 $7000^{\circ}$ にもなり、上空600mから地上に来る熱線は、 $3000^{\circ}$ にもなったそうです。ちなみに太陽の表面温度は、 $4000^{\circ}$ になるそうです。この熱線によって、多くの人々が(中心部にいた)灰になり、その後、毎秒440m(音速は、340m/秒)の衝撃波が灰と化した人々をばらばらになるのは、なんてさっくなんたと思いました。ちなみに広島に落ちた原子火暴弾に使われた化学物質は、ウランです。650kg中火暴したのは、わずか1kgです。たった1kgで広島市を灰にするのは、とてつもない力だと思いました。これらの知識をくれて、ありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

1/1 表

私が、原爆先生の特別授業を聞いて、気持ちが悪くなりました。それは、原爆のおそろしさ、こわさ、にくさという気持ちや原爆先生が伝えたいことが、伝わってきたからです。

とても空が晴れた日に、いっしょにして起きたくさんの人々の命をうばった、広島原爆。そんな原爆にのがみ、生き残った人々の中の一人が原爆先生のお父さんです。そのお父さんが、広島原爆のことを日記に記し、また、それを原爆先生が読んで下さったとき、その情景が見えてきました。支ふはむけ、苦しむ人々、いっしょにして亡なってしまった人々、生きようと、必死ににげらる人々。そんな情景を思いながら、胸があっくなりました。

今、私たちが生きているのは、きせきた"と思います。あの日、いっしょにしてすべてをうばってしまった広島原爆で、亡なってしまった人々の分も、私は、今日という日を、けん命に、生きています。また、原爆先生から聞いた話を家族に話し、少しでも多くの人々に原爆のおそろしさを分かってほしいです。



## 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

12/7

私は、原爆先生の特別授業を受講して、  
被爆のおそろしさを知りました。

お話を聞いているだけでもゾッとするような  
被爆者たちの体、映像を見てお話しで  
言っていた事がよく分かりました。

人の黒いかげだけがのこっていた映像を見ると  
思わずビクッとなりました。

どのお話も映像も原爆のおそろしさを知る  
ものばかりでした。

私は、「原爆」という言葉だけでこのように  
深くは知りませんでした。

でも、改めて昔の人々の苦しさを知り辛さも知り  
助ける方々の苦しさも知る事ができました。

お話しがきけて良かったです。





名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

12/7

先日は、五小にきてくださり、ありがとうございます。  
私が知らない事を教えてもらえました。

原爆は、すごく怖いもので被爆である事が  
分かりました。広島に投下された原爆、

「リトルボーイ」は、リトルなので、小さいので、この  
原爆よりも、大きい熱線、衝撃波、放射線、この  
三つが、もと、強いものをアメリカは、持て  
いたのかも、しれません。もし、その大きな方が  
投下されていたら、もと、もと、大変な事に  
なっていたかも... と考えると、すごく怖いです。

もう、こんな事が二度とおこらないように  
したいです。人の皮膚がとけてしまうなんて  
あまり、考えられません。

私達に原爆のいろいろな事を教えてくださり、  
本当にありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

12/19

私は、原爆先生の話を聞いて、原爆は、おそろしく、まごんなことだと改めて分かり、びっくりしました。

まず、最初にリトルボーイがた。たゴルフボールの大きさの1kgと書いてそれだけで7000℃の熱で4~3000℃の熱をあげることになったということです。いっしょんで、死んでいた人が消えたように見えるくらいおそろしいものだと分かりました。

次に、広島市の人口が35万人にたいし死亡率が40%ということです。それだけの力はあったということは、ビデオや、池田義三さんの話でわかっていただけで、40%も死んでしまっ、被爆者数が24万人という数なんだということです。その人たちは、ただふつうに生活していただけなのに、その原爆だけで、一しゅんのうちに消え去ってしまうということがなんともまごんでありえないとおもいました。そして、資料館に、あつた人形を義三さんは、きれいに磨くといったことです。私たちでは、みこいられない物なのに、それよりもっと、本当は、まごかったと思うと恐ろしくなります。原爆は、そういうものだとわかったので、これからは原爆のこと考えていこうと思いました。お忙しい中、お話をありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

12/7

原爆先生の話を聞いて、原爆はおそろしい物だと思いました。1945年8月6日、原爆を入れたエノラ・ゲイ(アメリカの戦う機)はマリアナ諸島から日本に上陸しました。目的は広島、小倉、長崎にかけて投下するという事が初めてしりました。また、広島に投下された原爆「リトルボーイ」は上空9632mから投下し、およそ上空600mで爆発され、その周りの温度は7000℃ということも原爆のおそろしさが伝ありました。私が思うに絶対原爆を使ってはいけない、家族や世界中をひどい目にしてしまう。そして、原爆先生の父はおそろしい経験を通してこの事をうたえているんだと改めてしりました。おいそがしい中、貴重な時間をお話を聞かせてくださってありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

12/7

原爆先生の話を聞いて原爆のおそろしさを知りました。例えばリトルボーイ、60kgものウラニウム(ウラン)が入っていたこと。中央の温度は100万℃、外側は7000℃、地上600Mの位置で爆発したこと。死者14万人、死亡率40%のこと。このことを聞き本当に現場にいた人々はどれだけこわい思いをしたか、自分がもしそこに居たら考えるだけでおそろしいです。その現場にいた池田義三さんは9日間も現場に居てもがんばっていたことがすごいと思いました。

原爆ドーム 本来の名前は広島県産業奨励館という名前と聞き聞いたこともない名前で大びっくりしました。

題名にもある「7000℃の少年」その題名の意味を話を聞いてわかったしその題名だからこの話がすごく心の中に残る話になったと感じました。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

12/17

原爆先生の話をきき、改めて原爆はこわいものだと感じました。

例えば、原爆をうける時、野外にいた人は、いっしょんで消えてしまうという所や、大ヤけどをし、ひふがはがれてしまうという話をきき、自分がそうなるかもと想像すると、こわく、原爆をうけるのはいやだと思いました。

そして、原爆の投下の候補になった都市は、広島、小倉、長崎の他にも、横浜、新潟、京都があったそうです。中でも一番強くおいていたのは京都だったそうです。その理由は、周りに木々があったり、一軒のほかに家が密集していたため、原爆の効果がありそうだったから、強くおいていたそうです。でも、京都は重要な文化財だったので、候補をとりやめ、最終的に広島に原爆が投下されました。それにより、被爆者数は24万人、死者数は14万人にもなったそうです。この被害にあった人はたくさんいた

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> [post@hiroshima9.com](mailto:post@hiroshima9.com)

ので、これからほこういう事件がなくなればいいと思います。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

12/7

原爆先生の話を聞いて、私が想像する以上に  
原爆が怖いということを知りました。

原爆で亡くなってしまおう人は全て大やけどか、放射線で  
亡くなるのかと思っていました。けど、炭化して、  
衝けき波でくたかれると聞いたとき、怖くて声か  
出ませんでした。そして大やけどをしても

必死に生き続けようとする人々はすごいと  
思いました。だから今、私達の命を戦争で  
簡単になくしてはいけないと改めて感じました。

この「人の命を簡単になくしてはいけない」と一人一人が  
意識していれば戦争はおきないと思うのです。

私は原爆先生の話を聞いて改めて学んだこと、  
新しく学んだことをこれからに生かして  
いきます。

おいそがしいなか本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

12/7

平和が続くこと、これは人々にとってとてもうれしいこと  
です。そのために戦争をしないというのが一番大切だと思  
います。その根拠として、1945年8月6日、広島県  
広島市に約4世の「リトルボーイ」が落ちてきて広島市の  
人口、35万人の内、死者数14万人という数の方が  
亡くなってしまったのは悲しいことです。だから戦争を  
しないということはすごく大切だと原爆先生のお話を聞いて改めて思いました。

戦争をしないようにするのはできないのではないかと  
考える人がいるかもしれませんが、私は日頃から、  
家族や友達と仲良くしたり、外国の人の差別をしない  
ようにすることが戦争にならない理由になるの  
ではないかと考えました。

これからもずっと平和が続いてほしい。そして、戦争を  
したいという気持ちをなくしていきたい。私にできる  
ことは、友達と仲良くしたり、差別をなくしていく  
ことだと思います。

助けたくても助けられなかったという話が1番心に  
残っています。原爆とは、おそろしい物だと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

自分たちの社会は少しおくれていたから、まだ、戦争の所に入っていないかたけどきのう、原爆先生が90分の間詳しく、自分のお父さんの陸軍にいた時の事を教えてくれたので、おどく勉強になりこれから、やる社会もおどく分りそうて楽しみです。昔、日本がこんなに悲しかったのは知ってたけど、原爆がなぜ落とされたのかなぜ日本に落ちたのかこの条件ならば日本以外にはなかりたのり様々な疑問が話のまじりに出来たけど最終的には原爆先生が教えてくれた話の中に疑問の答えがのってて、おどくと思ひまたちょっとしたり休、雑学など教えてくれました。それに原爆を落としたアメリカの爆撃機「エリク・ゲイ」は機長チベツ大佐の母親の名前という事も知れた。他にモたくさんの昔の日本のことを教えていただき、いい勉強をする事が出来ました。おいそおいい中、詳しく教えていただき本當にありがとうございました。





名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

12/7

ぼくは、今まで原子爆弾がどんな被害をもたらしたのか、  
や広島が当時どんな状態だったかなど知らなかったけれど  
原爆先生の話聞いて色々な事実を知りました。

例えば爆発した瞬間に200mに膨張するなど今まで全く知ら  
ないような事が聞けて良かったです。特に原子爆弾の中心温  
度が100万度で表面温度が7000℃というのにはとてもおどろ  
かされました。

また原子爆弾のおそろしさや町人々の被害を知って  
とても胸が痛みました。一瞬でなくなった人や被爆して今  
でも苦しんでいる人がいるということは信じられませんでした。

それでも原爆を今でも所持している国があり、どこで使  
われるか分からないのはとてもこわいです。

でも原爆をおとされた唯一の国として日本は平和を呼  
びかけていかなければいけないと思いました。

とてもためになる授業でした。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

原爆先生の姿を見ていない時、原爆を体験した人がそのまま来てくれるのかと思いましたが、原爆先生の父が体験したんですね。原子火暴弾が落とされてもう70年で原爆を体験した人が年々減少しています(当たり前だね!) そういった中でお話しを聞けるのが嬉しいでも私的には、当時もうすでに歴史的に不利でしたのに、わざわざ最後の切り札の原子火暴弾を出したのには、何の意図があったのでしょうか? 日本政府に絶望を与えたかったのでしょうか? 決め手にしたかったのでしょうか? それとも.....

戦争を続けていたら更に落とされていたと思う」という考え方もする人もいますが戦争を早く終わらせたから、例のロシアとの領土問題でもめていないのもあるけど僕は、早くに戦争を終わらせた方がいいかと思っと思っています更に10万人近くの人々が失なわれていたのかもしれないからです。原爆先生この度はどうもありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

12/17

ぼくは、原爆先生の特別授業を受講して、色々なことを学びました。

1つ目は、広島に落とされた原子爆弾「リトルボーイ」を運んだB29爆撃機「エノラ・ゲイ」の名前の元となった「エノラ・ゲイ」というのがチベット大佐の母親の名前だということです。

2つ目は、リトルボーイが地上600mで爆発して球ができた時、中心温度が100,000,000℃、表面温度が7000℃という太陽レベルの高温になるということです。ぼくは、このようなことを初めて知りました。又、他にもさまざまなことを学びました。

原子爆弾のおそろしさを改めて知り、世界から原子爆弾をなくしたいと思いました。

とても勉強になりました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

12/7

先日は、ほくたちのために時間をつくってくださり、ありがとうございました。

先生の話を聞いて20才にもなっていないのに軍隊に入り原爆を投下されてとても辛い体験をしたことが分かりました。その原爆には有害なウランを60kgもつみこまれていたけれども1kgしか交効果がでなかったのでも被爆者数がすくなくなるとは良かったですが1kgしか交効果がでていないのに広島市の人口半分ほどがなくなっていることがあらたに知ることができました。この原子爆弾の熱線などではなくていなかたもげんはく病というやまにかかるといふことがなくなっているかたかたもいることを知ることができました。

義三が言った言葉にはおどろきました。それは「やせしいね」です。それは広島資料館にある人の皮ふがたれ落ちていふ人形のことを言っていました。ほくはそれを実際に見たけど見られなほどでした。しかし、本当に体験した人にとてはやせしい。それほどやせしいことが想像できます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

12/17

私がお話を聞いて一番印象に残っていることは、原爆「エノケイ」の温度が100万度にもおよぶことです。原爆がすごく熱を持っていることは知っていましたが、まさか100万度という大きな数値だとは思いませんでした。実際、地上に着くころには3000度になっているようですが、それでも異状に熱く、川が一瞬にして干涸ぶ、とうするなど、考えられないことが起こったと聞き、とあることに確信を持ちました。原爆に関する問題で、人類至上、最も恐ろしい兵器とありました。最初はおおげさだと思いましたが、今となっては同情できません。そして唯一、その標的となった日本は、本当に哀れです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

12/17

ぼくは原爆先生のおかげで原爆が今まで以上にとても恐ろしく感じました。なかでもやけどでひかがたただれおちていくということがとても恐ろしく感じます。原爆の恐ろしさはこの社会の勉強で資料を見たり、ビデオを見たりなどで感じていましたが、まさにこれほどのものかということば、考えていませんでした。きっとまだ原爆の恐ろしさがかつてない所はたくさんあると思います。自分にもまだ確実には原爆ことは分っているとはいきません。この恐ろしさを後世に伝えることはできなくなっていくのかと心配になります。そして原子爆弾が爆発したときの地上での温度は3000℃ということにとてもびっくりしました。ぼくはやはり戦争とは絶対にやってはいけないことだと思ひます。最近では戦争をやらないといけなるといわれてきている世の中なのでとても心配です。このまま平和がつかないままです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

12/17

ぼくは原爆先生の話を聞いて、思ったことは、自分が想像していた原爆の恐しさよりもはるかに恐く、危険で、人の命を一瞬にしてうばうものだとは知りませんでした。

その中で特におどろいたのは、地上の家付近の温度です。

だいたい夏は20～30℃なのに、原子爆弾が投下されたすぐ後の温度は3000～4000℃近くまであがりました。

あとは「ウランを使った量です。

最初に飛行機につんでいた量は約60kgに対し、使った量は1kgだけです。

しかし、1kgだけなのに広島を焼きつめたのは、やはり原子爆弾というのは、とても恐しいものだと改めて思わされます。

お話を聞いて、やはり爆弾た"けてなく人の命をうばうというのは、とてもひどく人間を苦しめるのでやってはいけないと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

12/17

原爆先生のお話を聞く前にぼくたちは、「はたしのゲン」を見ました。その内容は、想像を超えるものばかりでした。

そして、原爆先生のお話も、「はたしのゲン」と同じような話だと思っていました。しかし、タイトルの7000℃の少年というのを見て、内容などのすべてが、ちかづうと思いました。

広島に原爆が落とされてすごい被害があったのは知っていたけど、軍人はなにをしているのか、町の人はどうなったのか、そして、話の最後の方に、死者の数と被爆者数のページがありました。広島市の人口35万人、被爆者24万人、死者数14万人、死亡率40%、5人に2人が死ぬ、これを見て、日本の軍はなにをしていると思いました。

しかも、罪の無い人が、いっしょんで命をうばわれました。アメリカはなぜ罪の無い人を殺したのか、ぼくはアメリカ、アホだと思いました。

戦争は人のすべてをうばうということをあらためてかんじました。





名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

12/1

ぼくは原爆先生の特別授業をやったことは原爆は危険ということと、原爆で多くの人々が死んでしまうということをおそわりました。ぼくが一番印象に残っている話しはやけどした人をトラックにのせようとしたとき手をひっぱたら手の皮がむけてという話しが一番印象に残っている話しです。他には多くの死亡者がでたときいたときはそれぞれしました。広島の人口は35万人被爆者数24万人死者数14万人死亡率40%。ぼくは死亡率40%と聞いて思ったことは広島に住んでいる人がほとんど死亡しているとおどろきました。ぼくは原爆先生の話しがきけてよかったです。ぼくは原爆先生の話しをきいているときはこわくて身をふるわすくらいしかけど、最後には話しの内容がわかりました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

12/7

最初の所は、原爆の恐ろしさが伝わって来て、ぞくぞくとしました。また、池田義三さん達が原爆投下後に被爆者を助けたり死体を集めて焼却したりするのに大変苦勞したこともよく分かりました。原爆についての詳しい説明では、原爆を投下する前にラジオソツデという機械をパラシュートに付けて投下したこと、原爆が爆発した時の球の中心の温度が1000000℃で周りも太陽よりも1000℃も高い7000℃だったこと、また、それが地上600mにできたので太陽が地上に近づいたようなことだということ、空「ラ・ゲイ」は乗っていたチベット大佐のお母さんの名前が元になっていること、「リトル・ボーイ」はウラン原爆で爆発したのはつはれていった60kgのうち、1kgしか爆発しなかったことなど、原爆について新しく知ったことが沢山ありました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

12/17

私は原子爆弾について、広島と長崎におとされし多くの方がいそぐな、た事は知、ていました。しかし、被爆率 70%、死亡率 40%だといふ事は知らず、おどろきました。他にもはじめて知、た事が2つあり、1つ目は、1kgです。これはもえたウランの量だと知りました。しかし、60kgづまれていることも知りました。もし全部もえていたら……広島全イ本に被害がいらていたかもしれないと思、いしました。2つ目は原子爆弾の大きさです。3、12mの大きさがあり、4tもの重さた、という事を知りました。そして、『7000tの少年』のタイトルの意味ははじめよく分からな、たけれど、7000tは原爆の熱さで少年は原爆名リトルボーイの日本語だ、と話を聞いて思、いしました。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

12/7

ほとんど先生の授業を受講して、一番印象に残っている事は、原爆のことです。

原爆が火暴発して、中心の温度が、100万°Cで表面温度が7000°Cという事で、太陽の表面温度の6000°Cより1000°Cも高くて、内側の部分の真ん中が、真空になっていたことにおどろきました。

あと暑さのせいでも、人の体の水分が1リットルで、蒸発して消えたのが印象に残っている。また次に原爆の材料がウランという物質ということも、おどろきました。

ゴルフボールのウランが火暴発しただけで広島をはかいしてしまう、ウランの、力がすごいのと思いました。

最後の、広島市の人口の35万で、被爆者が、24万で死者数が14万で、死亡率が40%もあることがすごいのにおどろきました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

12/17

私は戦争は、とてもおそろしいことだと思いました。  
 なぜなら、T-1は1kgの爆弾(コルクボールくらいの重  
 さ)で広島市を燃やしたと聞いたからです。私は、1  
 kg以上ある大きな爆弾が広島市を燃やしたのだと  
 思っていました。なので、T-1は1kgで誰もなにか被害に  
 あつたと思うと、とてもおそろしいことだと思いました。  
 原爆の被害にあつた人は、炭のかたまりや骨にな  
 ってしまうと聞きました。

池田さんのお話によると、8月6日原爆の被害  
 があつた当日、広島市は、爆心地に近づくにつれ  
 て、ひくは、たお落ち、洋服は焼けてしまつてい  
 ました。その数日後、死体をさかはず作業に入つた  
 らうです。死体はすごい臭い匂いしたそうです。川  
 には、やけどした人たちが水に飛びこんだよう  
 な死体もいた  
 たくさんあつたそうです。その原爆の被害にあつた  
 人は、広島市の40% (5人に2人) くらい  
 いたそうです。(お話をきいて)  
 私は、原爆の被害にあつた人の様子が思  
 い浮かびません  
 でした。それは、私たちが思つてい  
 るより原爆の被害が、大  
 きいのだと、思ふことがあつた  
 と思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生のお話 じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

12/7

原爆先生のお話を聞いて、改めて原爆のおそろしさを知りました。広島に原爆が落とされて亡くなった人もいれば、放射線にあたって、後遺症ようが残ってしまった方もいて、とても悲しかったです。けれど、必死に後遺症ように立ち向かっている人もいて、すごく感動しました。原爆が落とされた後、先生のお父さんは、色々な人を、必死に助けにいて、目の前で、色々な人が亡くなってしまったり、色々なにおいにもたえてこれがあってこそ、色々な命が助けられたと思います。原爆で亡くなった方の分まで、私たちが、必死に生きていきたいです。今、生きていることは本当に幸せだと先生のお話で改めて、知る事ができたと思います。ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

12/7

私は、原爆先生の特別授業を受講して、原子爆弾はおそろしいものだと学びました。

なぜなら、一つの原子爆弾による熱線、衝撃波、放射線で、

広島市がふも飛び、人々が一しゅんでこの世から去ったり、人間の姿ではなくなったりして14万人が亡くなったからです。

また、今では広島市を灰色の世界にした「リトルホーイ」の何倍ものいりよくの原子爆弾を色々な国がもっているという話を聞いておそろしいと思ったのも理由の一つです。

そのため私は、原爆先生の特別授業を受講して原子爆弾はおそろしく、たとえそれをもっていなくても、広島と長崎以外には、使わずに、義せし者を出してはいけないと思いました。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

12/17

私は原爆先生のお話を聞いて原爆は  
すごくおそろしいということが初めて分か  
りました。爆発した後の人間の様子など  
聞いているだけでこわくなりました。

原爆のおそろしさは私が思っている以  
上におそろしいものでした。

そして原爆によってなくなっただ人は  
五人のうち二人という多くの人がなく  
なり生きていてもけがはしていたり放  
射線により後からなくなるなど多く  
の人に被害があったことにびっくり  
しました。しかもそのおそろしい原爆  
が長さきにも投下された同じようなこと  
があったということにすごくざんげく  
なものだと思いました。

原爆が投下されてから何年たっても  
住む場所がなく生活に苦しむ  
人が何人もいることにもびっくり  
しました。





名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

12/7

私は原爆先生のお話しを聞いて、とてもゾッと  
しました。以前、「はだしのゲン」のドラマを学校で  
見ました。それだけで私は戦争というものが怖く、  
たまに空を見上げることがあります  
今日、実際のことを聞いて、予想より怖いもの  
であり、先生が「。。。バーン」と言ったとき、心  
がはれつするかと思いました。また、ひふや、肉が  
はがれ落ち...と聞いて、とても怖く、そして、  
見ていないのに、おそろしく、ゾッとしました。  
原子爆弾は太陽が落ちてきたと考えると私には  
想像できません。また、映像を見て、一瞬で  
会社員の男の人が消えてしまいました。それを  
見た私は一瞬、固ってしまいました。  
死者数は14万人でそのうちの2万人はその一瞬で  
死んでしまったと聞いてもう怖くて怖くてたまりませ  
ん。でも、当時の方は、実際に体験したということ  
を考えるととてもおそろしいです。今日は、とても  
貴重なお話しを聞かせていただき、本当にあり  
がとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

12/17

原爆のおそろしさ、はかい力の強さを改めて知りました。その時代では、秀才で戦争のために、軍に入らなければいけない。「徴兵令」という事を知りました。社会科で少し、やたことがありました。秀才で軍に入るなんて若すぎるのに、それよりも、若い17才で軍に入った池田義三さんはとても大変だったと思います。あと、「ウラニウム(ウラン)」という物がリトルボーイの中に60kgもありました。なのに、(ゴルフボールくらい)1kgしかねんしょうませんでした。たった1kgでも、こんなに多くの被害がでたのに、60kgもねんしょうしたら、一体日本はどうなるのでしょうか？考えたくもなしです。しかし、今では昔の1000倍はいりくがある兵器もあるそうです。やはり戦争は「だめだ」と改めて感じました。広島県で5人に入る人は死亡されるという、残虐な結果があります。これ以上の被害をたさないために、私たちにできることはできるかぎりやっていきます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

12/17

私はお話を聞く前から、爆撃機の名前、原子爆弾の名前などは知っていたが、候補になった都市、爆弾の落とし方などはじめて知った。爆弾の力のくわしい説明、当時兵士だ、お父さんの実体験はとても想像のほんいではないほどすごかったです。また、原子爆弾にとうとれられていた、ウラン60kgがすべて、熱はうして、エネルギーとなったら、と想像がつかない。そんな原子爆弾が投下された広島、死亡率40%、さらに、5人に2人は亡くなるということも初めて知った。その原子爆弾の何倍もの破壊力を持った原子爆弾が、世界にある事実、そしてその原子爆弾が落とされたら、おとされた場所は、広島、長崎の何倍も恐ろしい現実が待ちうけているということも、池田先生のお話やお父さんの実体験から、感じることで、ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

12/17

原爆のついでにたしのゲツを見たことがあるから少しは知っていただけいろいろな話を聞いて知らなかったことも知ることができました。

原爆は人をすみのようにしてしまったり皮がむけたり家などにはこわれたりなどとしてもおそろしいことがおきたりした話しを聞いて本当に原爆や戦争はおそろしいと思いました。そんなことがおこらないために戦争がおこらないようにしていかないといいけないと思いました。

世界にはもっとすごい兵器があるからそのような戦争にうから兵器が世界からなくなるようにしていきたいと思いました。

原爆のおそろしさが分かりました一つの爆弾で死者が24万人も出てしまうなんてことが知りませんでした。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

12/17

ぼくは、一度テレビで原子爆弾のことを知る機会があったが、これほど深く、知ることができたのは初めてでした。

しかも、テレビで見ると、目の前で話すのを聞いているのでは、かなり感じ方がちがいました。

とくに印象に残ったのは、1kgのウランが、ゴルフボールくらいの大きさだという話です。

あれほど小さなものが、1kgもの重さがあり、爆発すると広い範囲が燃えてしまうほどの威力がある。

この話は、今も信じられません。いや、こんなに恐いものが存在していたなんて、信じたくもないです。

一刻も早く、核兵器がなくなっほしいです。なので、ぼくは原発も大反対です。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

12/7

私は、はだしのゲンを見た後に、先生の授業を聞きました。けど、実際に話を聞いたら、はだしのゲン以上に何もかもがひどかったということが伝わってきました。まず最初の爆発の時、先生の声にすごくおどろいたけど、つまりそれくらいもしくは、それ以上に音がすごかった事が分かりました。いしきもどった時は、目に手をあて、耳に親指をいれていたことから、訓練がきびしかったのかなと思いました。トラックに乗っているとき救いの手をさしのべていて、つかんで乗せてあげようとしたらはだかをはかれ落ちたと言っていたから、はだしのゲンからは、想像もつきませんでした。その後の死体を焼やす作業をしている時、それをほこんでいるときのおいかすごくきつかったといっていました。私の想像では、自分が生きている中で一番きょうれつなにおいだったんじゃないかなと思いました。11時にもう一度原爆が落ちるといううわさがたち始めたのは、どこかなと思いました。理由は、本当に11時02分に長崎に2つ目が落ちたからです。だからそう思った人はすごいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

12/17

原爆先生のお話を聞いて、今まで少ししか  
分からなかった原爆のことを、とてもくわしく  
知ることができました。中でも、太陽の表面  
温度よりも高い温度の物が空から降って  
またことにすごくおどろきました。

原爆を落とそうとしていた場所の中には、最初、  
横浜、新潟、京都、広島、小倉、長崎が  
入っていて、京都に原爆が落とされなかった  
理由が、「京都には人々にとって重要な文化材  
がたくさんあるから」という意見があったから  
だったということも初めて知って、とても

おどろきました。お話を聞いて、原爆が落ちて  
きたときのおそろしさや、目の前で人が  
消去してしまう様子、助けたくても助けられ  
ない悲しさや苦しさがすごく分かりました。  
原爆は、人の命や家などをうばっていった  
ものだったということを知りました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

12 / 7

原火暴先生の話聞いてみて、「7000℃の少年」とは、  
広島下落とされた原子火暴弾が地上から600m  
の所の熱さで、原子火暴弾とは、自分の上で火暴発  
したら、体中、内蔵の中までの水分がうはわれ、  
人間は炭素でできているため、骨もなくなり、  
黒いかげのみしか残らず、また、このようなこと  
を見た人は、目の前で手をつなく親見子がいなく  
なり、水分が蒸発したように見えたとも言っています。  
それほと大きくもない長さ3.12m、重さ、糸釣4tの  
原爆火暴弾が投下されたことにより、広島  
の40%、人口の5人に2人がせたり、3.12mの  
長さの原子火暴弾一つでも、広島市民、これだけ  
の人々かせり、すごい力だなと、思いました。

また、リトルホーシの何倍もの力を何個も  
世界が持っているを知り、小布いなと思いま  
した。そして、原子火暴弾を落とす候ほとしておけ  
られていた県は、広島、小倉、長崎で、広島  
の候が悪かたら小倉、その次は、長崎と初めて  
知りました。





名前は裏面に記入してください

原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

12/7

私は、原爆先生のお話しを聞いて原爆についても、とくわしく知る事ができました。私は、原爆先生のお話しを聞く前に「はだしのゲン」を見ました。原爆がとう下され青白い光とものすごく大きな音で一しゅんにして多くの人かたくなたり、大きなやけどをしてうでを前にしながら助けを求める人で原爆のイメージは、「怖い」というイメージでいっぱいでした。しかし、原爆先生のお話しを聞いて青白い光ではなく赤と白の光という事やうでを前にしているのは、ただ助けを求めているわけではないことを初めて知りました。そして、原爆投下都市の条件が3つもあっておどろきました。その条件を満たしている所が6つもあることにもおどろきました。太陽の温度よりもあついのが太陽よりも近い所にあると思うととてもつらからただろうなと思いました。原爆先生のお話しを聞いて命の大切さを知ることができました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

ぼくは、原爆先生のお話を聞いて、戦争のおそろしさが想像をはるかにこえていたことが分かりました。

また、戦争や原子爆弾などのことにくわいになります。戦争は二度してはいけないと思いました。

原子爆弾が時速300kmで落ちてきたと聞いてとてもびっくりしました。また、最後のビデオメッセージにでてきた池田義三さんのメッセージはとても心がうたわれました。

原爆先生のお話はとても分かりやすく、本当は、原子爆弾を落とす都市で一番よくおさげ(ていた)のが京都だったことなどいろいろなお話を聞かせていただきました。

このお話をずっと忘れず、これから自分や世の中に役立ていきたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私はおはなしを聞く前から、社会  
や「はだしのゲン」を見て原子爆弾が  
落とされた場所やどういうひがいに  
あったかは、だいたいの想像がつい  
ていたけど、池田先生の特別  
授業をしてもらうと実際に体験  
された方のおはなしなので、  
すごく強い印象が残りました。  
そして知らなかつた事もたくさん  
あり、原子爆弾を落とされた飛行機  
の名前とか広島に投下された  
原爆が「リトルボーイ」という事など  
いろいろありました。

原子爆弾を投下していい条件がある事に  
びっくりしました。

原子爆弾の「熱線」、「衝撃波」、「放射線」を  
直接あびてしまった人は一瞬にして炭に  
なってしまう、かたくなになってしまう事に  
一番びっくりしました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

12/17

この原爆先生の特別授業のお話を聞く前に国語の授業で「はだしのゲン」というお話を見ました。ぼくが原爆先生のお話を聞いている時「はだしのゲン」と同じような所もありました。でも、「はだしのゲン」にものっていないお話が聞けました。しかし、お話を聞けば聞くほど悲しくなっていました。一つの原子爆弾のせいで何万人もの人々が「ぎせい」となり、生きている人がいても、熱いじゃすまないくらいの熱さで、ひんがはがれ生きているか死んでいるかもわからずそこはただただ地獄の世界だとおもいます。

他にも爆弾が使われた物の重さや長さ、くみなど、わかりました。

ほかの町での被害者たちもひとかたんだらうなあと思いました。

だからぼくは、これからずっと絶対に行っていないと思います。なので、特別授業を受講して原爆先生の色々なお話を聞いてよかったです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

12/7

私は原爆のお話「はたしのゲン」を見たり読んだことがあります。その中で被爆者が体中ぼろぼろになった姿を見ました。最初は気味が悪くて怖いと思いました。けれど、体験者の方をみれば本当に見たものはあんなものではなく、もっと気味が悪くて、においも嫌なもので、河原もはき氣におそくあるほどのものだと知りました。そして、その被爆者たちを尋ねる作業を何日も続けていたことを驚いと、思いました。

今年は戦後70年で、新聞・テレビで色々話題になっていて沢山分かったことがありました。だけど、原爆の威力は想像しづらかったし、エノラゲイのこと、原爆投下都市の候補のこともくわしく知りませんでした。なので今回、体験者の日記をもとに、とてもくわしいお話を聞かせていただき、沢山のことが分かりました。体験した方の日記なんてそう聞かせていただけるとはなかったのでとても貴重なお話でした。ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

12/7

原爆先生のお話を聞いて、原爆のおそろしさをあらためて知りました。

今までも、私は「はだしのげん」のDVDを見たり、少しだけ、おばあちゃんの子どものころの話を聞いたりしていたけど、ここまでおそろしいものだとは思っていませんでした。

でも、肌がただれおちるや、あまりの痛さに転倒、あまりの暑さに川に飛び込んでも、川が沸騰して死んでしまう事など自かの中で想像が出来ず、とても聞きやめかっただけです。

そして、人間の体は炭素で出来ているから、燃えると、灰になってしまう事を初めて知りました。

ミサイルの事などもたくさん聞いておごく頭に入ってきました。

原爆先生のお話は、本当に分かりやすく、こんなに貴重なお話が聞けて良かったです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

12/17

原火暴先生の授業を受けて広島原子爆  
たんのおそろしさがよく分かりました。

体に当たると大やけどになってしまったり皮膚が  
はがれてしまっていて自分では考えられないと  
思いました。

原子爆弾の衝撃波が音速より速い  
のはすぐおどろきました。

原火暴先生が実際に言ったように突然  
大きな音が広島でも起こったんだと思いま  
した。

広島を攻撃した原火暴はゴルフボール一個  
分で1kgのものだったのはおどろきました。

原子爆弾による死亡率が40%もある  
ので5人に2人は原子爆弾を受け  
ていることになる。放射線による原  
火暴病という病気になってしまったりと  
原子爆弾は本当に危険な  
ものなんだと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

12/7

ほくは、原爆先生の授業をうけて、原爆がどれほど危険な物かよく分かりました。

熱線が、とてもあついのは知っていましたが、まさか人の水分を一瞬で蒸発させて炭にほとんどあついととは思いませんでした。さらに炭になつた人間を、原爆のしうげき波でばらばらにして火葬といはれるほどとは、思ひなかつたので、とてもおどろきました。

他にも、しうげき波の速さが、音速をこえることや、熱線の温度が太陽の熱をこえることなど、原爆先生の話は、おどろくことばかり、學びがたです。ほくは、原爆先生の授業をきいて、原爆がどれほど危険かよく分かりました。





名前は裏面に記入してください

原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

私は、最初は、原爆のことを  
良くは知りませんでした。でも、  
原爆先生のお話をきいている  
うちに、とても興味をもちました。  
原爆の被害を受けて、全身真っ  
赤である人々のことを知った時  
しても胸が痛みました。悲しい  
気持ちもあったし、おそろしいと  
いう気持ちでもありました。原爆  
先生は、当時のことをもくもくと語  
っていて、とても気持ちが伝わって  
きました。原爆が落ちた時の様  
子がうかんできて、とても実感しま  
した。当時、ひどいしょうきょうだった  
ことがとても良く伝わってき、ひどい  
と思いました。原爆先生のおかげで、原爆のことをあらためて  
良く知ることができました。本当  
にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私が、特別授業で印象に残った事は、原爆先生のお父さんが体験した中の話で、原爆がおとされた後、けが人をトラックにはこぼうとした時、けが人の手の皮がすべってはがれおちるところと、トラックにはこべても焼けた皮どうしがくっついて、叫ぶ様子の部分です。なぜ、印象に残ったかということ、すごく痛そうな話で頭からはなれなかつたからです。原爆でこのような様子になるなんてものすごくビックリしたし、怖いと思いました。原爆を投下した時に人々に悪えいきょうになることがる種類(熱線・衝撃波・放射線)があるなんてビックリしました。私はその中の熱線だけかと今までずっと思っていました。でも放射線も聞いたことありました。色々知らなかつた事がよくわかりました。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは、原爆先生の話を聞いて、わが、たことは、原子爆弾の熱線、衝撃波、放射線、広島に落されたリトルボーイの中身がわかった。リトルボーイには、60kgのウランが1kgしかねんはじなからたことがわかった。また爆心直下の場戸所では3〜4000℃た、たのもわかった空で爆発した時に100℃太陽のひょう面の温度は6000℃太陽のひょう面より温度がたかい爆心直下あたりでは人がいっしょんにしてその場からきえそのあとは人の形でしみじかめらていたとてらのもしなからた。原子爆弾投下後候補にな、た都市に横浜、新潟、京都、広島、小倉、長崎があかり京都に落るじとしたが人間にとての文化さいがあたというこてやめたのせなからた。また広島は爆心地は原爆ドームの近くだ、たのもあからた。11kgのウラン(ゴルフボールていどつが)広島を爆発させられるうたがめかたたいと思、た。しなない話しか聞けなからた。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

名前は裏面に記入してください



ぼくは原爆先生のおかげで原子爆弾の衝撃波の速さやこれによって死んでしまった人、被爆者数死亡率など原爆のおそろしさが改めて良く分かりました。

他にも原子爆弾投下者市の条件や、広島に投下された原爆「リトルボーイ」の言葉の意味や、今で言う原爆ドームは昔で言う広島県産業奨励館という場所だったという事なども良く分かりました。場所などに関する事は地図などをうまく使ってとても分かりやすかったです。ぼくがこの言葉を聞いて印象に残ったことは、熱系泉の熱さです。中心が100万℃で外周でも7000℃という太陽の熱さを簡単に超えているということにとてもおどろきました。

原爆について詳しく教えて下さり誠にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

お忙しい中 ありがとうございます。  
原爆先生の特別授業を受けて、  
原子爆弾がどんなに恐ろしく、どれ  
だけたくさんの方の命を奪い、悲し  
めたかがお話や映像からよく分か  
りました。原爆ドームに展示してある  
模型を見て、池田義三さんが言った、  
「きれいすぎる」

という言葉がとても印象的でした。  
池田義三さんの体験したことの話で  
は、聞いているだけなのに自分が体  
験しているような生々しさが感じられま  
した。私はこの話を聞くまで原爆という  
物をあまり知らず、他人事だと思っ  
ていましたが、今は私たちが普段通り  
暮らしていることの幸せさを改めて強  
く感じ、「平和」の言葉の重みを初めて  
知りました。原爆先生のお話が聞けて  
良かったです。本当にありがとうございます。



## 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私が原爆先生の特別授業を受講して思ったことは、原爆のおそろしさです。先生の話に出てくる私(池田義三さん)が見たこと、感じたこと、聞いたこと、をそのまま読んでいて、自分がその場でやういふことをしたら...、または被爆し、全身にやけどを負ってうでをななめ前にのびし歩く状態になり、皮はボロボロで色々なところに傷を負う...という状態になったらと思うと、話を聴いている最中からふるえが止まらなくなりました。この原爆で命を落とした人は14万人程と聴いて、なぜ罪のない多くの人々が殺されてしまうのかと、疑問になりました。また、多くの国民を亡くしてまで戦争を続けた昔の日本は、とても変な考え方をしていたと思いました。また、威力の話も聴きました。熱線、衝撃波、放射線の三つ。原爆の中心部は100万℃。表面は7000℃。地表だと、3000℃。というようにとても熱いことが分かりました。これだけ熱いので、体中の水分がすべてとられ、すみとなり衝撃波でくたかれるというのが、ほぼ一瞬だったというのがとてもおそろしかったです。このようなことがもう永遠におこらないような日本がいいです。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆先生の特別授業を受けて戦争というもののおそろしさよくわしく聞けそして理解できました。

ふつうは21さいでかならず軍に入るはずが池田さんは4さいも若い17さいで陸軍に入り江田島で軍事物資を調達しに行、たところ、広島に原爆が落ち池田さん達は広島に行、て元安川のい体を焼く、という命令をうけた。という時に私はい体を焼ということかとても怖、て思、ました。

そして広島の前安川に行く途中の道でも、始めの方は、ふつうの人でも後の方になると人がやけどしていたり、ひ、い、か、いはか、い、落ちていたり、いろいろ大きなけがを負、た人がは、え、てきたというところではけい、い、よ、い、としました。

広島に落ちてきた「リトルボーイ」という原爆は中心部が約100万度表面が約7000℃ 太陽表面が約6000℃なので「リトルボーイ」という原爆がよけいにおそろしいということがよくわかりました。

罪のない色々な人達が死んでしまうので戦争は嫌、だと強く思、いました。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の特別授業を受講して分かったことは二つあります。一つ目は原子爆弾の破壊力が予想以上に大きかったということです。その破壊力は半径5km以内に居ても人間の皮ふを熱線、衝撃波、放射線のかで"焼き尽くし、とても人間とは思えない姿になってしまうほど"です。さらに、広島市の人口は35万人でしたが、被爆者数は24万人、死者数は14万人にまで、のぼり死亡率は40%とのことで大勢の人が亡くなったことが改めて分かりました。

二つ目は原子爆弾は大陽よりも熱いことです。その温度は表面でも7000℃。中心部分は100万℃に達する熱さで"大陽の表面の熱さは6000℃なので"原子爆弾の方が"1000℃熱い"ということが分かりました。だから被爆者が"どんなに辛くて苦しかったのか"が"身にしみて"分かりました。原爆先生の話を聞いた僕は知らなかったことが分かったりと色々なことを学び、滅多に聞けない御話を下さり、有難う御座りました。





名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは、原爆先生の特別授業を受けて、リトルボーイについてと、そのリトルボーイをうつ計画として、リトルボーイをうたれた後の三つについても、印象にのこりました。

リトルボーイについては、直径は、3.2mで、重さ約4トンもある原爆です。その原爆がおちたと思うとぞっとします。

リトルボーイの、うつ計画は、広島、小倉、長崎、横浜、新潟、京都の都市の、どこかにうつ計画です。原子爆弾投下都市の条件は、①直径5kmを超える②平野であること③空気がなかつたので、それにあつた都市が京都でしたか。京都は、人にと、て重よな文かざいがあるのので、うつのをやめました、ぼくは、国がちかくても、こういう思いがあると思いました。

リトルボーイのうたれた後は、すぐに焼け死んだ人といふ、大やけどで死んだ人をいふので、死亡率が広島の人口の40%の命がうばわれました。

こうした結果から、もう二度と戦争はしたくないと思つた。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆先生の話を聞いて、思ったことは、二つあります。一つは、原爆のおそろしさです。なぜなら、話を聞いていて川が一瞬で熱くなり、衝撃波で人が一瞬で消えるように見えたりして原爆の破壊力がよく分かりました。

二つ目は、原爆の熱さです。原爆は、内側の熱さは、 $100万^{\circ}C$ で、外側は $7000^{\circ}C$ という熱さです。ということは、太陽の熱さ、 $6000^{\circ}C$ をこえるということですね。その、 $7000^{\circ}C$ の固まりが来るとなると皮がはがれる人はたくさんいたのだと思います。これではぼくは、原爆のおそろしさを知りました。原爆先生、原爆のお話ありがとうございました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆の戦争の恐しさと恐怖心は前からあ、たけし今回の話を聞いて恐怖心が強また、そして広島に投下された原爆は予想以上に大きくて驚いた。最初に1kgと書いてあ、たが何の1kgなのかよく分からなかつた。たけしウラン60kgの内1kgが火然火焼した重た、たの1kgが全部火然火焼してしま、たうどうな、てしま、たうと恐い思、た。原爆が上空600Mで爆発した時に地上の表面温度はなんと9000℃と聞いた時は驚いた。たけし原爆の表面温度は100万℃に達して居ると聞いてたけしに驚いた。衝撃波の速さが毎秒440Mという速さで音速を超えていたことかお、い、思、た。今の原爆は昔は今のような形ではなく岩島産業奨励館が食宮という建物だったのに原爆は、て今のような形にな、たとい、たけし。原爆が投下されたら産業奨励館は無くな、てい、たか、た、思、う。た、か、ら、こ、れ、か、ら、も、戦、争、は、永、久、に、し、て、は、い、け、な、い、と、思、う。戦、争、を、し、て、い、く、た、け、た、と、思、う。な、の、戦、争、は、無、味、だ、と、思、う。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

この前は、分かりやすい説明とお話を  
して下さいありがとうございました。  
私はこの話を聞いて、原爆と言うの  
は人々に残こくな思いをさせたの  
だと思いました。最初は、重さ4セもする  
大きな原子爆弾「リトルボーイ」が落ち  
てくることなど考えも、想像も  
つきませんでした。でも映像を見  
たら、どんな物なのか、どんなにこわいも  
のかか伝ってきました。熱線7000℃  
もする暑さは想像つきにくいけれど、  
この暑さでひふが「ベロッ」とむけてしま  
うのは、ものすごく、死んでしまいそうな  
暑さなんだと分かりました。また、原子爆弾  
が落ちた時に、ものすごい熱線と、けむりの  
強さで家や人はこげて、さらにアとい人は  
一っしゅんですみになてきえたと言う話しか  
出てきました。その話を聞いて私はびっくりし  
ました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは、初めて原爆のおそろしさを  
知りました。これまでは、ただの大きい爆弾  
だとして思っていなかったけれど、実際は  
大きさもケタがちがいに大きく、「熱線」、「衝撃波」、  
「放射線」もあって、とてもおそろしいものでした。  
さらに、ウランは少ししか使っていないのに、  
広島市をすべて焼きつくしたので、ウランを  
全部使っていたらと考えると、広島県を  
はるかにこえた地域の人々が被害を受けたと  
思うので、すごい破かい力だなあと感じ  
想像するだけでこわくなりました。また、  
映像を見ているとマジックのように  
消える兵士の姿が写っていたので  
とてもこわかったです。最後にこの授業を  
受けて思ったことは、今、こうして生きて  
られるのは、日本が戦争をやめてくれた  
おかげ、と、いうことです。もし、やめてなかったら、  
ぼくが原爆で死んでいたかもしれないので、  
日本に感謝したいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

月曜日、先生の話聞いて、原爆の危なさを  
あらためて感じました。最初は原爆ドームを  
見て、原爆、アッわいなと思ひました。

でも先生の話聞いて原爆のおそろしさ  
が自分か、思、ているものではせんせん  
なくて、町をまるごとふき飛ばさる  
くらいのかがあることを知りました。

また今回の空襲がは原子爆弾の  
 $\frac{1}{60}$  の力しか使われていないことか  
分かりました。... もしこの原子爆弾  
の全ての力を発揮したら、60倍以上  
の力が出ます。全ての力が出たら  
日本ごとふき飛ばしていてもおかしく  
ありません。過去のことを知ると  
これからどうするかなどを考えること  
ができます。世界中が原爆を落とされた  
のは日本だけなんたアッアです。

だから他の国も日本も二度とこういこと  
かないようにしてほしアです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは、昨日の原爆先生のお話を聞いて、あらためて原爆が広島の人々のおそろしさ、こわさ、かなしさなどがよく分かりました。前半のお話のと中の急にだまり=んでいきなりピカッと言たところではすごくおどろきました。が当時の広島にいた人々も急の原爆にものすごくおどろいたのじゃないのかなと思いました。また原爆の後の広島の人々の歩き方も手を前に出してゾンビのように歩いていたというのも初めて分かりました。その理由はぶつうの人の歩き方(うでを前後にひながら歩)をすると全身やけどしているのだから歩きがこすられると痛いからというのも初めて知りました。後半のお話では、太陽が6000℃に対して原爆は7000℃で原爆の中心の熱さは10000℃もあるというのも分かりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは、今まで原子火暴弾のことをあまりくわしくは、しりませんでした。

でも、今回の授業を受講してあらためて原火暴の恐しさがわかりました。

熱風で大やけどをおって赤くはれあがっている人もいたそうで、ひどい人は体のかわがはがれ落ちて肉が見えている人がいた事がわかりました。池田よし三さんが運よく助かりました。

でも、熱気象が3000℃なのでせくま、たんたちも少なしありません。

原子火暴だんのはいさうで人が何人も一っしゅんでこゑでせくなることを聞いてすごく怖か。たも實際そのげんばにいた、人もすごくこわかったと思ひました。





名前は裏面に記入してください

原爆先生の特<sup>じゆこう</sup>別授業を受講して

表

原爆先生のお父さんが体験した戦争の話を聞いて分かったことは、広島に投下されたげんしばくだんのことや7000°の7年<sup>しちねん</sup>の語のことやうたんまけない、戦争体験者原爆先生のお父さんからきいた話とかきょうな話をききました。

その中でも特に、印象に残っている話は、どうして原爆先生のお父さんは生き残ったのかとか、どのようにげんしばくだんがおとされたのか、げんしばくだん投下都市の条件や、げんしばくだんがおとされたあとの人間の様子とかがものすごく印象に残ります。

どうしてこうするんだろうと思<sup>おも</sup>ったことは、目と目を手でどうしておさえるんだろうと思<sup>おも</sup>いました。

あらためて戦争、てものすごくこわくて、くさうな<sup>くさうな</sup>な<sup>な</sup>と思<sup>おも</sup>いました。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

小説のお話を聞いて、少しこわくなりました。

原爆先生のお父さんの8月6日から9日間の

話は、原爆の熱線や衝撃波を受けた人のこと

や、その時の心の中のことをたくさんの言葉で

表現されていて、想像しているだけでゾッとしました。

原子爆弾を実際に見たわけでも、被害にあつた

わけでもない私が、実際に、その9日間を体験

しているような気分になりました。

後半のお話では、2つの問題が出て、私は想像した

答えと両方とも同じで、少し嬉しか、たです。

アメリカ軍も原爆が落ちる位置を計算して約4km

前の9632m上空から落とすのだと思うと、その時

のアメリカの技術がどれほど日本に勝っていたか

想像できます。そしてほとんど誤差なく原爆ドームの

上空600mに落ち、その中心は100万℃にもおおよびと

知って、とてもおどろきました。そして200mの球体の

表面は太陽より熱く、下にきても3000℃と聞いて、

原爆のおそろしさを改めて実感しました。また自分でも

調べても、とも、とくわしく知りたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は昨日の授業ですごく衝撃を受けました。例えば、「皮ふがどろどろになった人」という言葉を聞いた時はありえないと思いました。でも、本当に人間の手の皮がどろどろにとけている画像を見て人間とは思えなかったです。本当に被爆者は苦しみ大変だだと思います。そして昨日の授業を受け驚いたことは、原子爆弾の「熱」です。太陽の温度は6000℃。原子爆弾の中心の温度は100万℃。表面温度7000℃。広島市の人々は、この熱で皮ふがどろどろにとけたというのは信じがたいが、事実なのです。すべての事に衝撃を受けたので家へ帰って調べてみましたが、やはり衝撃を受けました。とても気持ち悪いものも出てきましたが原爆ドームに本当に行った人の方がすごく気持ち悪かったと思います。こんなこと二度としてほしくないです。世界が平和になることを願いたい。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

先日の特別授業ありがとうございました。ぼくが祖父に聞いていた単戈争の話と大きく違っていても驚きました。話を聞いて、今日本で単戈争がないことにほっとした。しかし、日本で昔人にも大きな悲劇があったことは絶対に忘れてはいけないと思います。先生のはく力のある誠情がとてつもない時の状態が伝わってき、本当にこんな体馬更をした人がいるんだととてもこわいと思いました。家に帰ってもしも全てのウランが暴発したと考へ、ゾクツとしました。HPを見て、先生が多くの人に語っているんだと思いました。また、単戈争の話も語ることは、とても大切なと感じました。ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆先生のお話を聞いて、リトルボーイがおとされ、ばくはつ火のしめだけのこされていたときいたときは、どんなふうに、人はいなくなりましたのかと私は思いました。CDを見たときに、すごいばくはつ音で、山がぶん火したようなけむりがあり、そのしょうけきで、ものすごい風が町じゅうをけむりにして、人がいなくなる時も、「ふわっ」ときえてしめだけのこったというのが、くりしました。そんなにリトルボーイは、すごい力を持っているんだと私は思いました。

池田義三さんは女の人をたすけ、手あてをし、こうたい、こうたいでおんがをしたというのは、きんむなんだと私は思いました。

私はこのお話をきいて、とてもかなしいまで、たいへんだったということが私には思いました。

この池田義三さんは、私たちにこんなことがあったと教えて、くれていたということが私には、感じました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の授業を受講して  
原子爆弾のおそろしさを知ることが  
できました。原子爆弾は、多くの  
死者を出し、爆心地から、半径  
5 km 以内の所を焼きつくすほ  
どのおそろしい爆弾ということ  
も知ることができました。また、原  
子爆弾の影響で人間のひふは、  
たれさかりとしても人間とは思  
えぬほどのすかたなっていたと  
いうこともわかりました。原子  
爆弾は、地上から約600mの所に  
くると直径200mほどにふくらみ、  
その中心温度は約100万度で、まわ  
りの温度は約7000°です。太陽の  
表面温度は約6000°なので太陽が  
急接近してきた温度よりも高  
いというのもわかりました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は最初何0000の少年と、いう数字を見てびっくりしました。地球上では何0000は生きているから生きのびられたのはすごいと思いました。

エノガイという飛行機には爆弾が積まれていて、その爆弾がリトルボーンを4km高さから落下して、爆心地にちかるところにおとしたから、骨が火爆トーンも鉄骨がけのこでとんとばばっしてしまっただけが世界文化遺産にえらばれたからすごいと思っただ。

はくはつの子ほら、た士土也に京都親鳥、木黄浜の3つもえらばれ、京都は理由があつたから、はくはつをやめた、でもなせのこりの新沼、木黄浜をえらばなかったのかかき紙になりました。

飛行機の名前エノガイはお母さんの名前を使ったのは偉いと思いました。

原爆先生の授業を受けた、いろいろなことがわかりました。話かたは、はくはつするときは少し間をあけてから、ゆ、こして、しかも、マイクがあつたので、音にもはしりよくがあつて、すこく分りやすく、ごもこると、マコカカしく言っていて、動画もあり、お母のじょうぎがよく分りました。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆先生の特別授業を受けて一番心に残ったのは「広島に原爆が落ちた」ことです。第1候補に上がった広島の相生橋を目標にして、原爆投下地点となりましたがその目標地点よりも200mは離れた所に原爆が投下されたというのがよく覚えています。

今、学校での勉強では戦争の授業をしていたので広島原爆についてくわしく知れて良かったです。そして今回の特別授業で戦争のおそろしさを分かりました。

小さな子どもから大人までそして老人の方もそのおそろしい事が起こる前に生きていた人口がたった一瞬間で命を落としてしまうかわいそうで、悲しいしゅん感でした。いつ、どこで、何かおこるのかわからない日々ですが、日本だけでなく世界中のみんなでだれかが悲しむ事件はやめてほしい。その用に特別授業を受けて改めて思いました。





名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは原爆先生の特別授業を受講しておどろいたことがたくさんありました。

その中でも、とくにおどろいたのが「ゴルフボールの大きさの「ウラン」だけで広島市が何も無い土地になってしまうなんておどろいてしまいました。

ぼくの友達が「ウラン 60kg 全てが焼けていたらテキストに考えても、本州の半分が焼けてしまうらしいです。

また、人間が作ったものが太陽よりも熱いなんてして人間は恐ろしいものを作ってしまうのたかと思いました。ましてや今世界各国がリトルポ-はりすごい原爆を持っていると思うとふるえがとまらないうでしよう。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特<sup>じゆこう</sup>別授業を受講して

表

ぼくは先生の話聞いてみて

池田義三さんがとても原爆によって

苦しんだりその被害を受けた人々の

話を聞かせてもらって、自分が考えてい

るほど原子爆弾、戦争はさまたるく

ないということが分かりました。

他にも様々な話を聞き、戦争は

させたくないという気持ちか深まり

ました。

だけどもし、原爆先生が教えて

くれなければ、まったく戦争のこと

を知らることが出来ていなかたかも

しれないのです。

今までのぼく達のように、まったく

知らない子ども、大人に戦争のおそろ

しさを伝えて、戦争をしない、

させない人々を増やして行ってくだ

さい。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の特別授業を受けて分かった事は、いっぱいあります。

まず、広島に投下された原爆「リトルボーイ」についてです。リトルボーイの重さが約4tと聞きびっくりしました。マンガでは、リトルボーイがパラシュートで飛ばされたとなっているが本当はちがうって事も知ったしなんで「パラシュートとかんちがいきれたか」と言う理由がよく分かりました。

原爆ドームと今は言われているけど、原爆がある前の名前は、「広島県産業奨励館」という名前だったことを初めて知りました。

太陽のひょうめん温度6000°に対して原子爆投の温度が7000°と言う事を知ったし、よく分かりました。

ひるしの皮がとれたりと言うことを聞いてこわかったし、びっくりしました。

原爆先生のお話を聞いてとてもびっくりしたことがいっぱいあったし、とても勉強になりました。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、戦争がひさんなことは知っていたし博物館などでもけいなどを見ていたけれど本当は、もとひさんなんだと知りました。そしてはくぶつかんでも手を前にしている人の毛けいがありました。その時は理由は分らなかったけれども、受講して、ひふとひふがこすりあわされていったいからとしてび、くりしました。他にも、スカイツリーのてんぼう台の高さからバクダンがおとされ、そのちかくのおんじが太陽よりも、あつい7000℃として、まさか、ここまであついとは思わなかったし、そうぞうもできなさそうでした。



じゆこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

12/9

今回の原爆の話を聞いて、今まで「さわるなあ」くらいしか思っているくらいに興味はなかったですが、

今回の授業を聞いて、ものすごくひどく、思っていた以上のまうぶが出てきました。人た、た形を たった一つの爆弾で多くの人を殺すか、人でない形にしました。

こんなのがまを世界に残っている。あるいは作っていると考えると、とにかくこわくてこわくてどう表せばいいかわかりません。広島市に原爆が落とされて約70年くらいたつてあと地た、たところは、もろほとんど残っていません。

今の原爆体験者は原爆の話を若い人たちに

話しています。ですが、るぶが人もとんとん少くなつていっているので

今回のような機会に実際に聞けてよかったです



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特<sup>じゆこう</sup>別授業を受講して

表

私はあの話を聞き、いろいろなことを学ぶことが  
出来ました。

「7000℃の少年」というのは、最初、私にはわかりません  
でした。しかし、話を聞いていくうちに、荷

そんな名前なのかというのを、知ることが出来ました。

「原爆」というのは、たくさんの人の命をうばう「兵器」  
であったということ、死亡率が40%、5人に2人が死亡して  
いる。という話でした。

話を聞きたがらず、そのことを想像しました。頭の中で。  
生きている人々が「助けて、助けて...」と近寄ってくる。

助けたくとも助けが本ない。そんな想像をしていました。

そして、最後のビデオを見て、「これだ。」と言った時、

背筋がゾッとしました。映像をもう一度見て、

これはまた「これだ。」であって、当時は残酷なもので  
あつたのだと思います。

私は改めてこの授業をやって、戦争とはどなたけ

にはいけないと。たくさんの人の命をうばう

「原爆」というのはどなたけ悲しく、残酷なもの

ということ。これだけのことを教えてもらって、本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆先生の特別授業を受講して原爆に対して恐怖をいただきました。原爆先生の話を聞いていると原爆がどれほど恐ろしいのかが分かりました。話を聞いているだけで背筋に寒けが走るほどなので実際に体験した方は恐ろしいなんて生易いものではなかったと思います。私は原爆先生の話から爆弾の中で燃焼したのは60kgのウランのうち1kgだけと聞きました。そこで日本地図をかき、広島に○をつけると、それと同じくらいの大きさの○をまわりに59個かいていきました。すると、日本の6割くらいが被害に合うことが単純計算で分かりました。それほどまでに恐ろしいものを各国が持っていること知り、びっくりしました。私達にできることは原爆の恐れを知り、二度と同じことを起こさせないことだと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、この授業を通して、原爆はすごく不必要だと確信しました。まず、原爆というのは、そもそもあまり分かっておらず、あやふやでした。が、池田先生のお話、義三さんの体験談を聞きすごくびっくりしました。まず、原爆の表面は、太陽よりも熱いということです。太陽は、毎日、はるかかなたの空にありますが、それがいきなり、真上に、あるのかと思うとすごくゾッとしました。それだけではありません、しょうげき波も放射線もです。その時、死なないと思っていた人が、考える間もなく死んでいく姿、すごく悲さんだと思いました。が、今、世界のほとんどの国が、原爆の1000倍の力を持っているそうです。原爆の資料は少なく、今、原爆のこわさについて語れる人は、少なくなっています。だからこそ、原爆のこわさについて積極的に知れ、広めていきたいと思